

年内接種加速化プロジェクトについて

おはようございます。

早速ですが、題材に入らせていただきます。本日は3件ございます。

まず、はじめに、ワクチン接種に関しまして、「年内接種加速化プロジェクト」と題した、12月の集団接種の実施についてであります。

県内の新規感染者数は、10月11日以降、約1か月以上にわたって、祝日の影響を除けば、ほぼ前週の同じ曜日を上回る日が続いている状況でございます。

また、全国的に見れば、感染状況には地域差がございますものの、増加傾向は継続しており、年代別では10代を始めとして若い世代ほど多くなっている一方、高齢者施設のクラスターも発生している状況でございます。

このため、専門家からは、「感染拡大の第8波に入りつつある」という認識も示されており、今後、気温の低下により、換気がされにくい状況となることも懸念されますことから、感染拡大を少しでも抑えるためにも、一人一人の自主的な感染予防対策を、改めて、徹底していただきたいと存じます。

一方、本市のワクチン接種の状況でございますが、11月17日（木）時点で、3回目接種を終えられた方は、約27万人で、接種率は、62.9%、また、4回目接種を終えられた方は、約13万人で、接種率は、31.3%となっております。

また、オミクロン株対応ワクチン接種につきましては、約2万5千人で、全国と同様、非常に低調な状況でございます。

本市では、国が掲げております、令和4年中に、接種を希望する全ての対象者の皆様方が、オミクロン株対応ワクチンの接種を受けられるよう、県とも連携し、接種体制の確保に取り組んでいるところでございます。

このような状況の中、今回の「年内接種加速化プロジェクト」では、クリスマスや年末年始に、ご家族など大切な人と安全・安心なときを過ごしてもらうため、受験や冬休み前の中高生を限定とした夜間の集団接種を12月16日（金）

に行うほか、年末年始に仕事に従事される方向けに、仕事納めとなる28日

(水)夜間に集団接種を行います。また、翌29日(木)には、日中の集団接種を実施することとしております。

また、ファイザーとモデルナのオミクロン株対応ワクチンにつきまして、いずれかを選択できるようにするなど、多様な接種ニーズにも対応することとしておりまして、延べ5日間で、1,940人分の接種を予定しております。

さらに、これまで3回目までの接種に限定されておりました、ノババックスワクチンについて、今月8日から、4回目以降の接種が可能となりましたことから、アレルギーや副反応などで、オミクロン株対応ワクチンの接種を控えている方にも、追加接種の機会を設けるほか、来年3月末までにオミクロン株対応ワクチンの接種を終えるために必要な、従来型ワクチンによる初回接種の機会も提供してまいります。

なお、集団接種の予約につきましては、明後日24日(木)の午前9時から、オンラインとコールセンターで受付を開始することとしております。接種を希望される方は、是非とも、この機会を御活用いただきますよう、お願い申し上げます。

今年の冬は、インフルエンザとの同時流行が懸念されております。新型コロナワクチンの接種にあわせて、インフルエンザワクチンの接種も御検討いただきたいと存じます。

高松市公式LINE「たかまつホッとLINE」のリニューアルについて

続いては、高松市公式LINE「たかまつホッとLINE」を、より便利で使いやすい情報発信ツールにリニューアルするものでございます。

本市では、平成29年5月に、市公式LINE「たかまつホッとLINE」を開設し、子育て世代向けの取組やイベントなどを中心に配信しているところでございます。

今回のリニューアルに伴い、新たに3つの機能を追加します。紹介させていただきます。

1つ目は、セグメント配信というものでございまして、イベントや健康・福

祉、観光など様々な市政情報のメニュー中から、利用者が発信される情報、聞き取りたい情報を選んでタイムリーに受け取りたい情報だけを手に入るセグメント配信を行うというものでございます。

2つ目は、簡単に、各種市政情報にアクセスできるリッチメニュー機能を設けるものでございます。これにより、防災情報や休日当番医、広報といった基本メニューと、引っ越しや補助制度などの、市民ニーズが高い、暮らしに密着した情報に、簡単にアクセスすることができます。

3つ目は、利用者が知りたい情報へたどり着きやすいように、シナリオによる選択肢を表示して、情報を絞りこみながら知りたい情報にアクセスできるようにしております。

例えば、「子育て」のボタンをタップすると、子育て・教育に関するメニューが出てまいります。次に、例えば、「子育て支援」を選択し、さらに放課後児童クラブを選択いただきますと、このように、ホームページに掲載されている情報を見ることができます。

さらに、現在、本市では、「マイシティレポート」というアプリを活用し、市民の方が、道路の陥没や、公園の遊具の損傷などを発見した場合、スマートフォンで写真を撮っていただき、それを、本市に通報していただければ、市が場所と状況を確認し、できる限り速やかに対応する取組を行っております。

今年度中には、こうした機能も、「たかまつホッとLINE」から御利用いただける予定としております。

「たかまつホッとLINE」は、12月1日（木）9時から運用を開始いたします。

広報高松12月号や市ホームページにQRコードを掲載いたしますので、ぜひ、便利で使いやすくリニューアルした「たかまつホッとLINE」を多くの方に、御活用いただきたいと思います。

「商都たかまつ！最大20%戻ってくる消費拡大キャンペーン2023」の実施について

最後は、「商都たかまつ！最大20%戻ってくる消費拡大キャンペーン202

3の実施について」でございます。

本市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う個人消費の停滞に加え、物価の高騰などにより、市内経済が大きな影響を受けていることから、家計支援と市内の消費喚起を図りつつ、新しい生活様式を見据えた非接触型のキャッシュレス決済の普及を促進することを目的に、高松市キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン事業を実施します。

キャンペーン期間は、来年1月5日から31日までとし、対象店舗は、大企業や大企業のフランチャイズチェーンなどを除いた市内の中小事業者等とします。

また、対象となるキャッシュレス決済は、PayPay、d払い、楽天ペイの3種類で、ポイント還元率は、キャッシュレス決済の20%とし、1回当たり2,000円、1キャッシュレス決済当たり期間中5,000円を上限とします。3つのキャッシュレス決済をもれなく利用すると、最大15,000円相当のポイント還元を受けることが可能となります。

なお、キャッシュレス決済やスマートフォンの操作に不慣れな方向けに、来月に市民向けの説明会を市内各所で開催することとしておりますので、合わせて、御周知のほど、よろしく願いいたします。

その他、詳細につきましては、専用ホームページ又は専用コールセンターを開設しておりますので、御確認いただければと存じます。

【記者質問】

【記者】

新型コロナの感染者が増加の傾向にある一方、季節性インフルエンザも県内ですでに発生している。高松市保健所や市内の医療機関の現在の状況のほか、発熱外来の対応の拡充などの検討について聞きたい。

【市長】

県内の新型コロナウイルス感染症の陽性者数は、約1か月以上にわたって増加傾向が続いておりますが、現時点では、爆発的な拡大には至っておりません。感染者数で言うと、500人～1,000人の間を一進一退というところかと思えます。従いまして、保健所や市内の医療機関は、逼迫しているとは言えないもの

の、確保病床使用率につきましては、徐々に上昇してきているところでございます。予断を許さない状況にあるものと存じております。

また、季節性インフルエンザにつきましては、県内の第45週（11月7日～11月13日）の報告件数（定点観測）は、0件でございます。香川県においてはそれほど流行はしていないということですが、全国的には、（近畿地方など、）一部の地域において増加するなど、流行の全くなかった昨年とは異なる動向が見られているところでございます。

本市といたしましては、現下の感染状況から、現在のところ、本市独自の対策を講じる考えはございませんが、県や医師会と緊密に連携しながら、新型コロナウイルスの感染拡大のピーク時においても、市民の皆様が発熱外来を受診できる体制づくりに努めてまいりたいと存じます。

【記者】

物価の高騰などで保護者の経済的な負担が増しているとして、高松市としては初めて、市立の小中学校の3学期の給食費を無償化することを決めた。

物価の高騰が落ち着く兆しが見えない中で、来年度以降の対応についてはどう考えているのか。また、物価高で市民生活が圧迫され続けている中で、低所得者への支援など、市として新たな対応策は考えていないのか。

【市長】

学校給食費の無償化ですが、この度の11月臨時議会に提出する予定にしております。補正予算に盛り込んだということでございますが、9月に創設された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の中の「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用して臨時緊急的な施策として実施するものでございます。物価高騰等に対応して、子育て世帯の経済的負担を少しでも軽減しようということで小・中学校における児童生徒の学校給食費を支援し、第三学期分の学校給食費の無償化を行うこととしたものでございます。

今回の対応は、あくまで臨時的な措置でございまして、令和5年4月以降につきましては、学校給食における食材に係る経費は、学校給食法に基づき、保護者の皆様からいただく学校給食費で賄うこととしておりますことから、現時点においては無償化を継続することは考えておりません。

次に、物価高による低所得者への支援など、市として新たな対応策を行うことについてでございます。今後も物価高騰が継続すれば、市民生活や社会経済情勢が、より厳しい状況に置かれることが懸念されるため、更なる対策を検討する必要があります。

このため、先週の全国市長会の会議において、国の補正予算の早期成立や、来年度予算編成における物価高騰等を踏まえた十分な財源確保などを求める「（物価高騰下における地域経済対策の充実に関する）決議」を行い、国に対して、機動的かつ万全な措置を求めているところでございます。

今後とも、物価高騰が市民生活に与える影響に、細心の注意を払い、必要とあらば、補正予算対応など、積極的に対策を講じてまいりたいと存じます。

【記者】

今回の発表項目であるキャッシュレス決済について。前回は新型コロナの影響で落ち込んだ経済を立て直すという目的でしたが、前回は2021年1月に実施をしていて、再度実施するという事で、改めて今回の目的について教えていただければということと、前回との違いについて教えてください。

【市長】

今回、商都たかまつ！最大20%戻ってくる消費拡大キャンペーンということで、キャッシュレス決済のキャンペーンを行うということにしましたが、ご承知の通り、コロナ禍が始まり2年半が過ぎ、経済活動等ある程度戻ってきている部分はありますが、まだまだ十分に回復はしておらず、物価高の状況もあり、非常に生活者として家計が苦しくなっている、そういう中で市内の消費喚起拡大と合わせて生活者への支援という形で20%プレミアムのついたポイント還元のキャッシュレス決済キャンペーンを行うことにしました。

時期的なものとして、前回のキャンペーンから1年が経っており、ここにきて秋の行楽シーズンで人が動いていますので、そこが一段落した1月を狙って、年明けの消費拡大という形で行うことにしました。

国の交付金事業を一部使った事業ということになります。それに合わせて、補正予算を組んだ上で行うことにしています。

前回との違いは、キャッシュレスで還元率が2回で25%と違っており、今回

は20%で、キャッシュレス決済の対象システムが前はP a y P a yのみ、今回はP a y P a yとd払いと楽天P a yの3種類になったのが大きな違いかと思えます。

また、対象店舗についても今現在募集しています。3種類の決済にすることで、加盟店や利用者数などかなり広範に対象とすることができるので、より経済効果として多くの中小事業者に及ぶことも考えられます。そのような形で、景気の回復、維持安定を少しでも確実なものにするために、1月という時期を狙って広範な対象として行うこととしました。

【記者】

確認ですが、秋は行楽シーズンがあり、市内の消費が高まってくるが、1月は行楽シーズンがひと段落した後、切れ目のない消費喚起を行うためにこの時期にしたということですか。

【市長】

そうですね。それと補正予算の時期の関係で、補正予算から準備行為をして実施ということになるので、特に準備行為の段階で今回はキャッシュレスでキャンペーンをやっても高齢者はよく分からないという声がありましたので、その利用方法について、みなさんによく知っていただくための研修会というか、利用方法の御案内を時間をかけてやるということにしています。そういう周知啓発的な時間がある程度取っていただき、実施に移し、これまで利用できなかった高齢者に利用しやすい仕組みにするということで、ある程度時間を置いて実施させていただきます。

【記者】

ワクチン接種に関して。今月、愛知県で市の集団接種で接種後にアナフィラキシーショックで亡くなった方がいらっしゃいました。市として、事故があると市民の方も心配される方も多いかと思えます。市として安全対策に向けてどう取り組んでいかれるのか、お伺いします。

【市長】

ワクチン接種の副反応の疑い事例ということで、本市の場合、発熱・けん怠

感・予防接種との因果関係が不明なものなども、すべて含めるとこれまで市内の医療機関から約200件の報告等が来ています。このうち、予防接種法に基づく健康被害救済制度の申請件数は24件となっています。

これらの24件の健康被害については、医師等で構成します、予防接種健康被害調査会において、予防接種との因果関係の調査を行い、これまで5件の症例について国における健康被害の認定がされています。

特に重篤な状態になり得る、アナフィラキシーを発症した方ですが、本市において、集団接種におけるアナフィラキシーを発症した方への対応として、国の手引きに基づき、接種レーンなどにアドレナリン製剤を配備し、接種後の待機エリアには専用の看護師を配置するとともに、酸素ボンベ等の救急措置に必要な機材を設置しています。

また、発症時には接種をいったん中止し、すべての医師と看護師がその処置に当たる体制を整備しています。集団接種の場合、本市は市役所13階とみんなの病院ですが、市役所13階の方は医師の指示により医療機関への救急搬送が必要となりますが、みんなの病院では救急対応の医師を常駐させておりますので、みんなの病院院内での救急対応ができる体制となっています。

このような状況なので、基礎疾患のある方や、過去にアナフィラキシーを発症した方については、集団接種ではできるだけみんなの病院をご利用いただきたく、可能な限りかかりつけ医での接種をご検討いただきたいと思います。このようなことを呼びかけてまいります。

【記者】

全国各地でオミクロン株のBQ1という新しい種類が出ていますが、県内ではまだ確認されていませんが、今後どのように対応していくおつもりですか。

【市長】

欧米を中心にBA.5系統から派生した、BQ.1が増加しており、国内でも感染事例が確認されています。オミクロン株対応ワクチンということですが、BQ.1が出ていますが、オミクロン株対応ワクチンについては、オミクロン株と従来株の2種類成分が含まれた二価ワクチンであり、変異株についても有効である可能性があるかと期待されていますが、まだ有効性自体は確認されていません。

専門家によるとB A. 5による流行は年内にピークを迎え、その後はB Q. 1などに置き換わる可能性が指摘されていますが、まだ十分に解明されていないので、本市としては国に対してB Q. 1の派生型感染力、重症化リスク、オミクロン株対応ワクチン接種の有効性において、解明をし、幅広く周知していただくよう国に求めてまいりたいと思います。

いずれにいたしましても、ワクチン接種に関する必要な情報は本市として提供してまいりたいと思っていますので、ワクチン接種を希望される方は現時点において接種可能なワクチンの接種をご検討いただければと思っています。

【記者】

商都たかまつ！20%消費拡大キャンペーンのところで、今回初めて、P a y P a y、d払い、楽天P a yの3種類にしたということで、少しでも多くの人という狙いがあるのかなと想像しますが、こういった狙いがありますか。

【市長】

前回2回においてはP a y P a yだけの対象としてやりましたが、対象店舗として導入しているかによって、使えるところと使えないところがあるということで、できるだけ広く事業者の方々の利益にもなるように使える店舗数を増やしたい、そうすると、使えるキャッシュレス払いのシステムを増やしていきたいということで、d払いと楽天P a yを追加してやることにしました。

予めそのような幅広いシステムが活用できるような事業者について、プロポーザルを行い対象としました。

【記者】

やしまーるにたくさんの方が来られていると思いますが、屋島に人が来られているということで、今の実績数は出ていますか。

【市長】

「やしまーる」につきましてはおかげさまでの来館者数に非常に好調に推移しています。ちょうど、8月5日（金）にオープンして、100日目が11月12日（土）でしたが、その11月12日（土）の日に、やしまーるとひっかけて84,000人の来館者数を記録したところです。

このような中、10月の屋島山上全体の入込客数につきましては、秋の行楽シーズンで好天が続いたことや、瀬戸内国際芸術祭の秋会期が重なったことで、

81,569人を記録しております。これは、コロナ禍前、瀬戸芸イヤーの令和元年度の10月と比べ、約1.74倍（34,778人増）の入込客数となっております。この81,000人あまりという数字は、屋島ケーブルが廃止となりました平成17年度以降で、過去最高の月間入込客数を更新したところでございます。非常ににぎわっている状況です。

10月の屋島は、「やしまーる」の指定管理者や民間事業者による夕方・夜間のイベントが毎週末に開催され、非常に多くの人で賑わったということで、入込客数増加の要因となったものと存じておるところです。

これから屋島も紅葉の本格的なシーズンを迎え、まさに見どころ、あるいは真っ盛りの季節を迎える中、政府の観光需要の喚起策「全国旅行支援」や水際対策の緩和などもあって、外国人観光客を含んで多くの方が屋島を訪れていただけるのではないかと思います。また、パノラマアートがありますが、それ以外の一般展示もこれから充実するという事なので、やしまーる自体の魅力も増え、紅葉シーズン、観光シーズンとして、多くの人に来ていただき、屋島が再活性化することを期待しています。